

8. 年 表

年 号	社)日本助産師会兵庫県支部	社)日本助産師会本部	法制・母子保健施策	社 会 情 勢
明32(1900) 明42(1910)	川辺郡産婆会設立		産婆規則が内務省令をもって公布	
大14(1925) 昭 2 (1927)	加西郡産婆会設立 小田村産婆会設立	日本産婆会設立		日本最初の地下鉄開通 (上野-浅草)
昭 4 (1929) 昭 7 (1932)	神戸市産婆会設立 兵庫県産婆会設立 兵庫県衛生課長「兵庫県産婆会、会長」浅海脩蔵氏			
昭 8 (1933)			助産師法案審議未了にて廃案	
昭16(1941)	日本産婆会第14回総会開催			日米開戦 (大東亜戦争)
昭17(1942) 昭20(1945)			妊産婦手帳の交付開始	終戦
昭21(1946)	社団法人兵庫県助産婦看護婦保健婦協会発足	日本産婆看護婦保健婦協会設立	新憲法公布	天皇の人間宣言
昭22(1947)	兵庫県産婆会を兵庫県助産婦会と改称。日本助産婦看護婦保健婦協会兵庫県支部発足 井上久野氏が助産師として会長となる	産婆を助産婦に改称。 社)日本助産婦会に改称。 日本助産婦看護婦保健婦協会社団法人認可	保健婦助産婦看護婦令公布 労働基準法公布 児童福祉法公布	
昭23(1948)		社)日本助産婦会発展的解散	妊産婦手帳を母子手帳と改称 優生保護法公布	帝銀事件
昭24(1949)		社)日本助産婦看護婦保健婦協会、国際看護協会再加入を認められる		
昭25(1950)	社会福祉法人ひとまる会 明石助産所開設			
昭26(1951)		社)日本助産婦看護婦保健婦協会の名称を社)日本看護協会に改称	児童憲章宣言 第1回保健婦・助産婦国家試験	講話・安保両条約を承認
昭27(1952)			受胎調節普及実施要領発表・認定講習始まる	乳児の出生率・死亡率低下
昭28(1953)	社会福祉法人有明協会伊丹助産所開設	助産婦に限り受胎調節実地指導員の広告が許可	保健婦助産婦看護婦施行令	都内に赤電話登場
昭29(1954)		社)日本看護協会は助産婦・看護婦・保健婦の連合体に改組され、社)日本看護協会助産婦会となる	優生保護法の一部改定国会通過。5年間に限り実地指導員の避妊薬の販売を承認	米国ビキニ島水爆実験、 第5福竜丸被災 ヒ素ミルク事件
昭30(1955)	社)日本看護協会から開業助産婦脱会。社)日本助産婦会兵庫県支部結成。助産婦看護婦保健婦協会存続(保助看三者共通の会館維持するため存続)	社)日本看護協会、国際看護協会(ICN)を脱会。国際助産婦会(ICM)入会決議。社団法人日本助産婦会認可		

年 号	社)日本助産師会兵庫県支部	社)日本助産師会本部	法制・母子保健施策	社 会 情 勢
昭32(1957)	社団法人兵庫県助産婦看護婦保健婦協会認可  神戸市長田区において神戸市立母子センター(大橋助産所)開設	社)創立30周年記念式典 皇后陛下・三笠宮妃殿下 ご臨席		南極観測隊、オングル島に上陸「昭和基地」と命名 ソ連、初の人工衛星打ち上げ成功
昭33(1958)				関門海底トンネル通道式 中山マサ氏厚生大臣就任
昭35(1960)	社会福祉法人加古川愛育会加古川助産院開設			
昭36(1961)	神戸市生田区において神戸市立中央助産所開設		未熟児養育医療開始 母子健康センター設置 新生児訪問指導開始	第2室戸台風、近畿中心に被害 サリドマイド事件 ケネディ大統領暗殺
昭37(1962)				
昭38(1963)		社)創立35周年記念式典、 皇后陛下ご臨席		
昭41(1966)	近畿東海北陸ブロック助産師指導者講習会開催		母子保健法公布 母子健康手帳と改名 妊産婦の訪問指導	「ひのえうま」出生率今世紀最低 初の建国記念日(2/11)
昭42(1967)		社)創立40周年記念式典 皇后陛下ご臨席		
昭43(1968)	神戸市葺合区において神戸市立東部助産所開設			3億円事件発生
昭47(1972)	兵庫県立総合衛生学院開校 <助産師学生20名養成>		母子保健推進委員制度	PCB・PHCによる妊産婦の母乳汚染深刻化
昭48(1973)	近畿ブロック助産師指導者講習会開催			金大中事件
昭51(1976)				病院出産数と助産所出産数が統計上、交叉 初の静止気候衛星「ひまわり」打ち上げ
昭52(1977)			1歳6ヶ月児健康診査・先天性代謝異常のマス・スクリーニングの実施	
昭54(1979)	近畿ブロック助産師指導者講習会開催			国公立大で初の共通1次試験実施 500円硬貨発行
昭57(1982)	社)日本助産師会兵庫県支部創立50周年記念式典 挙行			
昭59(1984)	社団法人兵庫県助産婦看護婦保健婦協会から社団法人兵庫県看護協会名称 変更		神経芽細胞腫のマス・スクリーニング、健全母性 育成事業実施	グリコ・森永脅迫事件
昭60(1985)	近畿ブロック助産師指導者講習会開催		B型肝炎母子感染防止事業 実施	男女雇用均等法、衆議院 本会議で可決へ エイズで初の女性患者死亡 ソウル五輪
昭62(1987)		社)創立60周年記念式典、 皇太子妃殿下ご臨席		
昭63(1988)	第22回ICM神戸大会 (1990年)運営委員会発足	「助産婦資格の男子への 対象拡大」反対に関する 要望書を厚生省に陳情		

年 号	社)日本助産師会兵庫県支部	社)日本助産師会本部	法制・母子保健施策	社 会 情 勢
平2(1990)	神戸ワールド記念ホール・神戸国際会議場にて第22回国際助産婦連盟学術大会開催		3歳児健康診査視聴覚検査導入	景気拡大
平3(1991)	近畿ブロック助産師指導者講習会開催	ICMより5月5日を「助産婦の日」と定め世界各地で助産師のイメージや業務に対する一般の人々の理解を深めるよう設ける	周産期救急システムの整備充実 育児休業法成立	
平4(1992) 平5(1993)	60周年記念式典挙行	「助産婦資格の男子への対象拡大」について、通常総会時に調査、約8割反対。(保健士のみ導入)		学校週5日制開始 釧路沖地震
平6(1994)			地域保健法公布 エンゼルプラン・母体保護法公布	預金金利自由化
平7(1995)	阪神淡路大震災発生。大きな被害を各会員被る	災害対策マニュアルの検討が開始される(兵庫県助産師担当)	子どもにやさしい街づくり事業	阪神淡路大震災
平8(1996)	近畿地区国際助産婦の日の集い、西山記念館にて開催 勤務助産師部会発足		不妊専門相談センター事業	O-157による集団食中毒発生
平9(1997)	近畿ブロック助産師指導者講習会開催	社)創立70周年記念式典。皇后陛下ご臨席	母子保健法の改正により母子保健事業が市町村に移管	
平11(1999)	研修会開催 ・7月11日会陰保護と骨盤位娩出法 (講師 川口芳子) ・8月7日痛くない母乳管理 (講師 立山サナミ) ・9月17日助産診断の基本 (講師 中井恭子) ・11月27日助産診断技術学(超音波診断実技) (講師東芝EMI)		新エンゼルプラン策定	冬期オリンピック長野県
平12(2000)	講習会開催 ・2月13日ベビーオイルマッサージ (講師川口芳子) ・7月23日 助産婦の責任(講師 岡本喜代子) ・11月24日 諸外国のお産事情 (講師 加藤尚美)	紙面総会にて「助産婦資格の男子への対象拡大」に賛成。保助看法の改正は国会会期不足のため審議未了	児童虐待防止市町村ネットワーク事業・「健やか親子21」策定	

年 号	社)日本助産師会兵庫県支部	社)日本助産師会本部	法制・母子保健施策	社 会 情 勢
平13(2001)	研修会開催 ・ 2月3日 私の助産技術 (講師 毛利種子) ・ 3月11日 妊婦ヨーガの基本 (講師 井上芳栄) ・ 7月22日 マタニティヨーガ (講師 井上芳栄) ・ 10月21日 思春期相談の実際 (講師 高田昌代)			ニューヨークの貿易センタービルへ飛行機2機による自爆テロ サッカーワールドカップ 日本と韓国の共催
平14(2002)	近畿地区国際助産師の日の集い(看護教育センターにて)開催 平成15年近畿ブロック助産師指導者講習会 平成16年社)日本助産師会通常総会を兵庫県にて開催決定 研修会開催 ・ 2月24日 行政への働きかけ・生き生きとした助産師の仕事 (講師 高橋八重子) ・ 3月17日 助産婦が出来る新生児異常の観察 (講師 中尾秀人) ・ 7月 思春期フォーラム ・ 11月 70周年記念式典	臨時総会開催 保健師助産師看護師法の一部改正による附帯決議に関する検討	保健婦助産婦看護婦法の一部改正 名称変更及び附帯決議(保健師、助産師、看護師)	田中耕一氏(民間人)・小柴昌俊氏ノーベル賞受賞 日本で初めて2人同時のノーベル物理学賞受賞 田中さんの民間人としての受賞は初めてである